

「自然体験活動指導者養成研修」

1 趣 旨

自然体験活動の教育効果を高めると共に、青少年が安全で安心して体験活動を行えるよう、自然体験活動の全体指導者を養成する。また、防災教育の観点に立った青少年の体験活動を推進する。

2 ねらい

- ・自然体験活動の全体指導者として、必要な知識や技能を養う。
- ・研修内容や参加者同士の交流を通して、全体指導者としての自覚を高める。

3 日 程

(1) 期 日 平成24年10月6日(土)～10月8日(月)【2泊3日】

(2) 参加者 23名(大学生11名, 社会人12名)

(3) 研修内容及び講師

10月6日 (土)	午前	○受付9:30・開講式9:45 ○講義「学校教育における体験活動の意義」 講師：福井大学 宗倉 啓
	午後	○講義・演習「体験活動の指導法：アイスブレイク」 指導：交流の家職員 ○実習「自然体験活動の技術：オリエンテーリング」 指導：交流の家職員 ○講義・演習「体験活動の指導法」 講師：金沢学院大学 山脇 あゆみ ○講義・演習「体験活動の指導法：ラボラトリー方式の体験学習」 指導：交流の家職員
10月7日 (日)	午前	○講義「自然体験活動における安全管理」 講師：福井大学 水沢 利栄
	午後	○実習「自然体験活動の技術：野外炊飯」 指導：交流の家職員 ○講義「教育課程と体験活動の関連性」 講師：富山大学 松本 謙一 ○講義・演習「プログラムの企画立案」 講師：富山大学 松本 謙一
10月8日 (月)	午前	○講義・演習「プログラムの企画立案(グループ発表)」 講師：富山大学 松本 謙一
	午後	○実習「救命救急法」 講師：羽咋消防署 救命救急士 ○閉講式16:40

4 成果と課題

(1) 成果

- ・今回の研修で23名の参加者に自然体験活動全体指導者の資格を付与した。
- ・いしかわ自然学校に登録して、実際に自然体験活動を行っているNPO法人へ広報をした結果、いしかわ自然学校のインストラクターやネイチャーゲーム指導員など、現場で指導している方の参加があった。今回の研修が、地元の自然体験活動推進に還元されることが予想される。
- ・参加者には大学生も半数含まれていた。研修内容には安全管理、アイスブレイク、ラボラトリー方式の体験学習法なども含まれていて、将来教職を目指す学生には役に立つ内容であった。参加者の事後アンケートでも満足度は高かった。
- ・次年度の新事業に向けて、機構本部の講師とCONEインストラクターの2名の専門家に指導してもらうことで、指導内容の偏りや、プログラムの組み方、実技の指導方法など具体的なアドバイスをいただいた。専門家の経験や豊富な知識に基づく意見は大変参考になった。次年度の新事業に向けて改善したい。

(2) 課題

- ・全体指導者として登録した参加者が、実際に現場にて指導する機会が大変少なく、指導者養成というシステムが形骸化している。指導者としての活躍する機会を設けるため、能登青少年交流の家での事業において、ボランティアスタッフとして参加を呼びかける。
- ・地域の自然活動推進団体との連携を図るために、いしかわ自然学校やNPO団体と連携をとりながら研修会を実施する。必要に応じて、講師も指導実績のある地元の専門家を招くなど、指導者や内容を検討していく必要がある。



実習『自然体験活動の技術：野外炊飯』



講義・演習『アイスブレイク』



講義・演習『自然体験プログラムの発表』